

大学院進学のスゝメ

悩むのであれば進学を。自分の価値を高めるために ●●●

芹澤 奈保さん

現在 大学研究員

2021年3月 食環境科学研究科食環境科学専攻修了（博士・食環境科学）

2018年3月 食環境科学研究科食環境科学専攻修了（修士・食環境科学）

—他大学のご出身ということですが、東洋大学に大学院進学をした理由を教えてください。

専門学校で教員をしていましたが、アカデミックな世界に行きたい、ということで大学院進学を決めました。研究テーマはもちろんですが、学費が安いことも東洋大学を選んだ理由の一つです。加えて、大学独自の給付型奨学金や各種奨励金も充実しています。私は学内の研究助成金もいただいていたので、そこから学会発表の旅費を捻出して、学会発表奨励金は学費に充てることもでき、経済的な負担を軽減できました。また、社会人が働きながら通える環境が他大学と比べて整っていた点も大きいと思います。

—大学院での生活は学部時代とはどのように違っていましたか。

また、東洋大の魅力は何でしょう。

自主性が強く求められます。学部時代のように先輩から言われた研究をただやるのではなく、自ら考察し、計画する。博士課程になると今度はより一層成果を出す、という覚悟が大きくなると思います。東洋大の良さは設備や支援が充実していることももちろんあるのですが、やはり先生方だったり研究室の仲間だったり、そういった周りの人の人柄の良さだと思います。社会人からの進学なので研究室内で浮かないかと心配していましたが、研究室のメンバーも温かく迎えてくれ、修了した今でも交流があります。

管理栄養士資格取得後に探究心を満たす ●●●

—食環境科学研究科に進学した理由を教えてください。

学部時代の学生実験がきっかけで、実験の面白さに気が付きました。今まで身近にあった食品が様々な化合物の塊ということを知り、食品の構造を化学的に明らかにしたいという探究心が芽生え、就職活動もしていました大学院進学を選びました。

—最終的に大学院進学を選んだということですが、

不安はなかったのでしょうか。

大学院生はいちからすべてを自分で計画し、行動に移していかなければならないという考えがあって、どこまでのレベルを要求されるのか、ということが不安でした。ただ、もちろん学部生時代より自主性は求められますが、指導教員が丁寧にケアをしてくれて心強い味方となってくださったのでその不安はなく、国家試験の内容を深化させた専門知識を学んでいます。

—進学をしてみて、学部時代との違いで感じることを教えてください。

学部時代は管理栄養士の国家試験の受験勉強に多く時間を割いていたので、とにかく研究をする時間が増えたと思います。他学科の学生よりも研究に割いてきた時間数が少ないので、いまは集中して研究を進めています。

上手く研究を進めていくと同時に、授業やアルバイト、就職活動の時間を作るためにそれに合わせた実験計画を考えるようになりました。そのため、時間をより計画的に、効率的に使うようになりました。

—博士では覚悟の部分が大きくなるということですが、それはやはり修了後の将来設計の部分に関わるところでしょうか。

もちろん覚悟の部分もあります。ただ、修士を経て博士に進み、学会や外部評価委員の先生方、大学院の指導教員の先生など、多くの人々との交流の中で視野が広がったと思います。

—その視野の広がりがお仕事にもつながっている。

現在、勤務している職場はこれまでの自分の研究テーマに直結するとは言えませんが、これまでに習得した分析等機器の技術と研究の進め方が活かされると考え、応募して内定をいただきました。博士後期課程を本学で終えられたからこそ得られた進路だと思っています。

—ありがとうございます。最後に大学院進学を考えている人に一言お願いします。

悩んでいるなら進学してください。その一言に尽きると思います。自分の可能性を信じることです。進んだ先いままでは想像できなかった将来が待っています。

芹澤さんの博士論文「微量栄養素による骨代謝への影響および脂質異常症をはじめとする生活習慣病の予防」



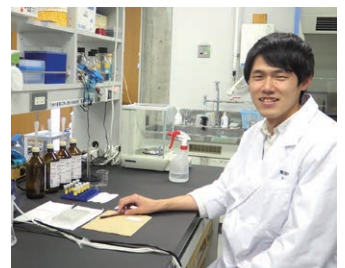
—大学院の魅力や、今後の将来設計について教えてください。

キャンパスが研究に集中できる環境にあり、専門知識を深く学べるのが魅力です。管理栄養士になるための勉強では、「この栄養素を取れば身体に良い」ということを学んだのですが、食品の機能性を、化学の構造的側面から捉えられる人間になりたいと考えています。今も少しずつ就職活動をしています。ゆくゆくは、機能性成分を明らかにし、人の健康に寄与できるよう科学的根拠の構築に活かしたらと考えています。就職活動はメーカーを中心に考えており、いま行っている研究手法が活かせるような食品分析業もあわせて考えています。

—ありがとうございます。

最後に院進学を考えている学生に一言をお願いします。

もし進路の一つとして迷っているのなら、将来後悔がないように、学ぶ機会は今しかないと考えてみるとよいと思います。国家試験があったため、進学時のスタート時点で、研究において遅れをとっていたかもしれませんが、現在は研究に打ち込めています。少しでも学びを深めたい気持ちがあるなら、不安や悩みを乗り越え、進学を検討してみてください。



太田 裕也さん

2021年4月 食環境科学研究科食環境科学専攻入学（前期課程）

2021年3月 食環境科学部健康栄養学科卒業



Q&A

● 学部との違いはなんですか。

学部との違いは何よりも研究の深さです。進学後2年間の計画を立てて研究を進め、学内外で発表をし、最後に筋の通った論文を書き上げます。これらの活動を通じて、思考力、プレゼンテーション力、語学力は格段に高まります。また、専門職等就職で有利になるなど就職後の給与が上がるといったメリットもあります。

● 大学院を修了後どのような進路がありますか。

食品分野や製薬会社関連の分野に就職している先輩が多くいます。博士後期課程に進む大学院生もいます。

例:株式会社Mizkan (製造・生産関連職)、ヴィディヤジャパン株式会社 (開発・研究職)、筑波乳業株式会社 (総合職)、株式会社アルブロン (開発・研究職)、協同乳業株式会社 (総合職)、サンエイ糖化株式会社 (総合職)、ダイドードリンコ株式会社 (総合職)、株式会社ファンケル (総合職)、日水製菓株式会社 (生産管理・品質管理職) 等。

● 学費が高そうで心配…

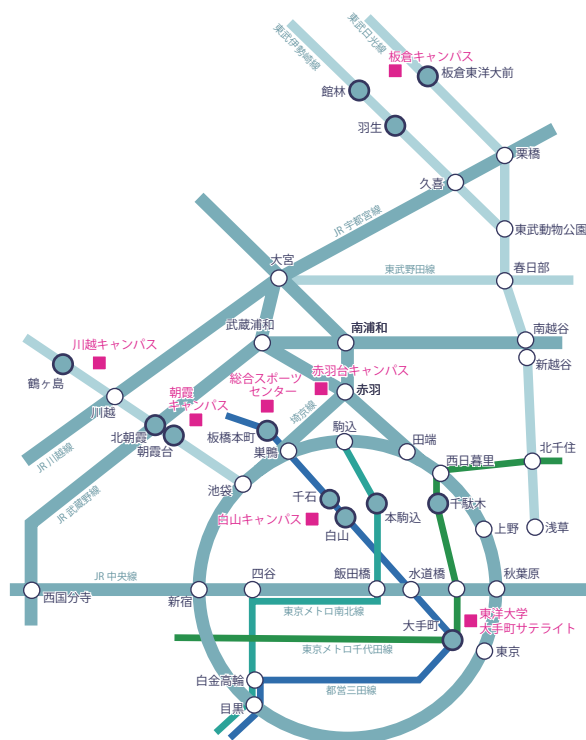
食環境科学部の約半分ほど (800,000 円) です。もちろん、決して安い金額ではありませんが、学内給付型の奨学金 (例、東洋大学大学院第一種奨学金: 30万円) や、民間財団の奨学金等を活用している先輩がいます。

奨学金等

- 給付型** ● 東洋大学大学院奨学金 第1種 (30万円)、第2種 (学費半額) 国・地方自治体等連携協定機関からの入学者に対する奨学金
- 貸与型** ● 日本学生支援機構奨学金 (第1種、第2種) 東洋大学教育ローン
- 研究の援助** ● 井上円了記念研究助成 ● 大学院研究発表奨励金 (学会・論文発表支援) ● 食環境科学研究科学会発表奨励金



Access



学費 (2021年度時点) ※入学した年によって変わる場合があります。

		入学金	授業料	一般施設 設備資金	実験 実習料	合計
(参考) 食環境科学部	1年生入学時	250,000	990,000	260,000	80,000	1,580,000
博士前期課程	本学出身者※	—	550,000	130,000	120,000	800,000
	他大学出身者	270,000	550,000	130,000	120,000	1,070,000
博士後期課程	本学出身者※	—	550,000	80,000	120,000	750,000
	他大学出身者	270,000	550,000	80,000	120,000	1,020,000

※参考: 国立大学院の学費は入学金 282,000 + 年額 535,800 円 (計 817,800 円)

入試日程

大学院入学は秋入学 (8月入試のみ) と 4月入学 (8月入試および2月入試) があります。8月入試の出願時期は7月中旬、2月入試の出願期間は1月初旬になります。入試は種別は、一般入試、社会人入試、外国人留学生入試、学内推薦入試の4種類です。入試内容等、詳細は右記QRコード先より、入試要項等でご確認ください。



※現時点の朝霞キャンパス新校舎の完成予想図です。実際の完成した校舎と異なる場合があります。

2024年に板倉キャンパスは朝霞キャンパスに移転します。詳細は右記QRコード先のWEBページをご確認下さい。移転に関する情報は随時HPにて公開します。



板倉キャンパス: 群馬県邑楽郡板倉町東野 1-1-1

朝霞キャンパス: 埼玉県朝霞市岡 48-1

東洋大学 板倉事務課

TEL: 0276-82-9119 E-mail: mlitakyomu@toyo.jp



東洋大学